

加治川を愛する会 vol.20

発行年月日 H30.9.20
 ●発行責任者● 会 長 鬼嶋 正之
 ●編集責任者● 編集長 安達 勝典
 印刷 (株)天野印刷

揮毫：渡辺 蕉風



桜と西名柄橋



西名柄地内



加治川第2頭首工

加治川の桜よ、永遠なれ

名誉会長 たがたかし

「加治川を愛する会」が発足して二十周年を迎えました。

これもひとえに会員の皆さんのお陰と、感謝の念に堪えません。発足に尽力していただいた役員の方皆さん、そして七年前に会長を引き受けてくれた鬼嶋会長はじめ執行部の皆さん、さらに毎年花見ウォークに参加してくれている小学生市民の皆さん、そして桜並木復元のため里親としてご協賛いただいた皆さん、本当にありがとうございます。加治川堤に植えられた桜はすくすくと育ち、毎年見事な花を咲かせてくれていきます。故郷を離れせわしない雑踏の中で暮らしてきた私にとって、母の象徴でもある加治川の桜が、皆さんのお陰で立派に成長したことは何物にも代えがたい喜びです。

新発田で暮らす人たちにも、異郷の地で生活する人たちにも、加治川の桜が等しく心の拠り所になるようにこれからも皆さん、加治川の桜を、そして新発田の未来を見守ってってください。

加治川を愛する会の発展とともに、桜の花々が皆さんの心の中に未来永劫美しく咲き続けることを願ってやみません。

愛する加治川で遊ぶ

29年夏は雨が多く桜は元気に育ち、秋にはシベリアから白鳥が飛来し優美な姿を見せる。

30年冬、ここ数年にない大雪と冷え込みに水道管の破裂を耳にした頃、桜は真っ白に雪化粧。

30年春、冬の大雪も3月には消え、桜が咲くも天候に恵まれず、行事の中止も。雨上がりに桜に虹が、堤には生命への畏敬を想起させるカタツムリの光影も見られた。



「加治川を愛する会」

二十周年に寄せて

初代会長 市嶋 正巳

「加治川を愛する会」が二十周年を迎えたことは誠にめでたく、同慶の至りに存じます。

この会は、新発田市出身の作詞家、たかたかし氏の作詞家生活三十周年を迎えた平成十年に、彼からの呼びかけで、地元にいる高校同期生が中心となって結成した団体です。

在京のたか氏は、いろいろな思い出のつまった郷土の加治川をこよなく愛していました。その加治川の桜が、度重なる水害で多く消失したことを惜しみ、「桜並木の復元、それを取りまく環境整備、次世代の子ども達への継承」などを目的として活動するボランティア団体の結成を提案したのです。その彼の熱い思いに共感し、老人パワーが始まりました。

発足の年、たか名誉会長のかかわりのある同業の方々や歌手の皆さんから、五〇本の桜植樹の資金を寄贈していただきました。それがはみとなって、会員数も飛躍的に増加し、里親制度導入など

で、植樹数も、今では約二三〇本あまりに達しているとのことでした。

十周年には、記念として、たか氏の私費による石碑を建立しました。表には、たか氏の素晴らしいメッセージを、裏面には、寄贈して下さった五〇人の方々の名前を記しました。

こうして、この会が二十周年を迎えることが出来たのは、もちろん関係諸団体のお蔭ですが、ここでは、そのほかの方々についてふりたい。花見ウォークで、毎年歌唱指導を続けて来られた石井愛さんに、加治川堤の桜並木を撮影し、提供して下さいている安達勝典さんに、そして、歴代事務局長さんの力があつたればこそと、深く感謝申し上げます。また鬼嶋正之現会長は、たか氏の懇請に応え三代目会長を引き受けて下さり、紫雲寺町長時代の豊かな人脈を生かし、手腕をふるって会を一段と盛り上げていらつしやいます。加藤和夫事務局長は温厚誠実なお人柄と、行き届いた配慮のもと、その重責を全うしています。



「想いを継ぐ」

会長 鬼嶋 正之

今年、当会は発足20周年を迎えました。たかたかし名誉会長の発意と市嶋正巳初代・木村哲二代会長をはじめとする先輩各位の熱意によって生み育てていただき今日に至ったものであります。あらためて感謝の念が湧いてきます。発足当時、地元紫雲寺町長として加治川堤桜の復元運動に取り組み、「加治川堤桜復元市町村連絡協議会」の副会長を務める立場から、その発足は大変嬉しく、心強く感じたことを思い出します。縁は不思議なもので、今は先輩諸氏の熱い想いを継ぐ三代目会長を務める立場です。幸いにも熱い想いを共有する代々の役員諸兄とおしみなく支援を続けてくださる会員各位のお陰様で活動が継続できていることを本当に有難く感謝しています。本会の課題は、想いを継ぐ諸活動に加え、植栽環境の整備と愛する加治川の積極活用と呼び掛けです。人の営みはバトンリレー。今を生きる人々の心に桜を咲かせながら、次代にどうバトンをリレーするか、なお考えます。

歌を通して

幹事 石井 愛

アトラクションの合唱担当として20年間参加して下さった皆様と歌を歌ってきました。毎年曲目を変えながら皆さんがよく知っている歌を歌ってききましたが唯一、これだけは変えられない曲があります。それは「手の平を太陽に」です。アンパンマンの生みの親、故やなせたかしさんが作詞した曲です。しみずだつておけらだつてあめんぼだつてみんなみんな生きているんだ友だちなんだ。どんな小さな虫だつて人間と同じ命がある。精一杯生きていく者同士みんな友だち。小さいからと言って姿が人間と違うからと言って簡単に命を奪っていいのか？とこの曲は訴えている気がしてなりません。命の尊さが軽視されがちな現代だからこそこの曲が子供たちにとって命の大切さを知る一つのきっかけになってくれたらと思います。生きていることの大切さを知った子供たちは自ら自然を愛する様になります。十数年後参加してくれた子供達が加治川の美しい桜並木や水流を守ってくれる事を願いながら私はこの曲を歌い続けていきたいと思っています。

会員からの言葉(1)

(順不同)

新潟市

風間辰夫

戦前、新潟県出身の海軍の英雄山本五十六大将与芝中の秀才小柳富次中将が、加治川の桜を見物して英気を養ったと伝えられています。その後の状況と同じように回復した桜並木、二人の英雄は天国で、平和な日本になったと喜んでおられることと思っています。

加治川を愛する会の更なるご発展をお祈りいたします。20周年おめでとうございます。

鎌倉市

翠簾野圭

ご送付頂いた絵葉書を見て昔を思い出しております。今年は4月15日に新発田に行く予定があり、ちよつと桜の開花には早いかと思います。加治川を散策できたらと思っています。

川崎市

高橋 宏

ご案内有難う存じました。小生84才、家内82才、共に元気で過して居ります。自宅玄関に加治川の桜の写真を飾り毎日故郷を想い出しています。

加治川の大桜

加治川の堤には何本の桜の木があるのか、調べ記録し数えてみた。

(次第浜橋―加治橋まで)

1355本の桜、左岸583本・右岸772本(公園内の桜を含め両岸で2100本余)

左岸一の大桜は、四ツ屋地内の桜で幹回り450センチ。この桜は、

(近くの近藤さんの話)

水害後に桜は根元から切られたけど、その切り株から芽が出て今の太桜に。その横に白色に咲く山桜は、水害後の堤工事の盛土に種が



⑪ 四ツ屋の桜

混ざっていて発芽し成長した桜だ。

草荷地内には旧堤と公園が2ヶ所あり、旧堤の下にはここ4年草荷に住むひとりの人の努力により菜の花が育てられ、桜と菜の花のコラボは素晴らしい景色に。

草荷公園は、草荷集落に住む一人の老人の働きかけによって作られた事を知りました。

公園を訪れる人々に水害と戦った人々の苦難の歴史を思い起こして欲しいとの老人の願いは虚しく、現在旧加治川堤防の存在を知る人は少ないのが現状です。草荷公園はいつしか維持管理さ

さく大橋

加治川

①

紫雲寺橋

②



⑫ 草荷の桜

右岸一の大桜は、草荷地内、旧加治川堤の桜で幹回り390センチ。

(近くの斉藤さんの話)

水害の後に全て切られるはずの桜が、何本かは切られずに残った。どの桜の木がそうかははっきりしない。

旧堤には幹回り350センチ以内の桜がほとんど、しかし、380センチを超える桜が5本あり、これからも成長し続け幹回り日本一になってほしいと願う。

※日本一は弘前公園の515センチ

平成30. 花見ウォーク

4月21日(土)

出発!!
宣言!!



みんなでゲーム



二階堂市長 挨拶

今年
2018ミス・インターナショナル日本代表の杉本雛乃さん(東大生)や、二階堂新発田市長はじめ、新発田市・聖籠町の小学生、市民の参加を得て快晴の中で行われ、堤桜はほぼ葉桜になっていましたが、ゴールの治水記念公園の八重桜は満開でした。

その後、歌や演奏を聴いて記念植樹や記念撮影をし、思い出に残る一日になりました。

今年



これから出発だ!



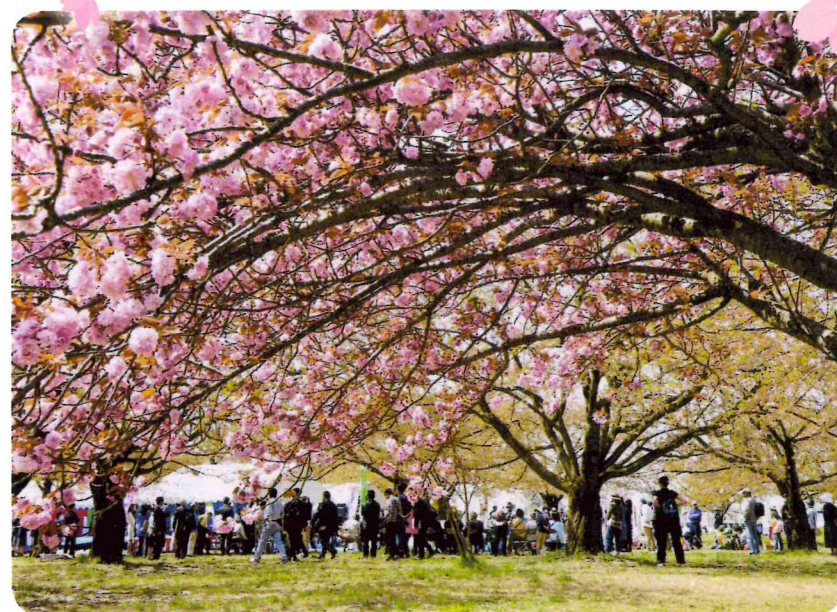
新発田南高校音楽部の演奏



参加者で記念写真



満開の菜の花を見ながら



満開の八重桜



新潟県新発田
地域振興局長
大塚 正さん

2018ミス・インターナショナル日本代表
杉本雛乃さん
グリーンキャンペーンのメッセージの贈呈



記念植樹



アッ!ゴミがある

加治川を愛する会 決算・予算報告

(単位:円)

平成29年度決算 (収入の部)		摘 要
繰越金	551,838	平成28年度からの繰越金
年会費	432,000	個人年会費292,000円、賛助会費140,000円
入会金	12,000	6人の新規加入
寄付金	18,000	寄付10,000円(芝高18期会)、会員寄付8,000円
助成金	200,000	緑百年物語推進委員会200,000円
雑収入	259,212	イオン黄色レシートキャンペーン地域支援費44,800円、 総会・花見の宴参加費205,000円、預金利子2円、 拾得物1,310円、戻入8,100円
合 計	1,473,050	
平成29年度決算 (支出の部)		摘 要
事業費	929,781	植樹、メンテナンス、花見ウォーク、写真展、絵 葉書セット、会報発行
運営費	95,098	事務費、通信費、会議費
什器備品費	0	
負担金	40,000	緑百年物語推進委員会費、緑共同募金会募金、 市桜まつり協力金
予備費	0	
合 計	1,064,879	

収支差し引き 1,473,050円 - 1,064,879円
= 408,171円 (平成30年度へ繰越)

平成30年度予算 (収入の部)		摘 要
繰越金	408,171	平成29年度からの繰越金
年会費	400,000	個人年会費290名×千円、賛助会員年会費
入会金	20,000	新規加入
寄付金	300,000	各種寄付
助成金	250,000	緑百年物語推進委員会より20万円、その他
雑収入	300,000	イオン黄色レシートキャンペーン地域支援金、花 見の宴参加費他、預金利子他
合 計	1,678,171	
平成30年度予算 (支出の部)		摘 要
事業費	1,300,000	植樹、メンテナンス、花見ウォーク、写真展、絵 葉書贈呈、会報発行
運営費	250,000	事務費、通信費、会議費
什器備品費	30,000	必要備品
負担金	60,000	緑百年物語推進委員会費、緑共同募金会募金、 市桜まつり協力金、関係団体会議参加費
予備費	38,171	
合 計	1,678,171	

平成30年加治川を愛する会

総会(報告)

日時 平成30年4月21日15時
会場 新発田市「志まや」
出席者数 42人
議事 ・平成29年決算承認
・平成30年予算議決

29年・30年の活動

- ・9月公園の草刈り
- ・10月5本植樹
- ・3月草焼き
- ・5月さくら大橋左岸下流
枝の剪定と下草刈り

花見ウォークのコースをほぼ毎週早朝散歩しながら、桜を眺め景色の移り変りを楽しんでいる。水害から50年、一度は消えた桜並木をよくぞここまで復活させてくれた先輩方に感謝感謝です。維持管理には多くの人の人力・金力・年月を要し今の桜並木がある。これからは一会員として桜並木の維持管理をしながら、加治川の桜並木を眺め見守りたい。

(編集子)

桜堤の維持管理は防災面からも必要な事と思います。堤外地に雑木が生い茂ると、水量が増した時水の流れが悪くなり堤から溢れやすく、堤内地の安全が脅かされる。早春に堤の草焼き、その後、堤の草刈り、堤の法面の草刈りなどを行っている。私達、加治川を愛する会も少しですが、桜の幹回りの草刈り草取りをして桜並木の保全と加治川桜並木の景観作りに役立ちたいと行動しています。

会員からの言葉(2)

(順不同)

横浜市

佐藤 進

子供の頃、(国民学校5・6年生)加治川の水門を過ぎて河口付近の海まで随分遠くまで歩いた記憶があります。今年で83になりました。昔の景色今も変わらずか。

東京都文京区

本間吉郎

お世話役、ご苦労さんです。どんなに満開の桜に接したいか、毎年たまらなく心がおどるのですが、なかなか思い通りにいきません、残念です。

同封くださった8枚のハガキ、この春はいく度も手にして、語りかけてやろうと思っています。

川崎市

神田郁代

加治川お花見ウォークのお知らせ戴きありがとうございます。今年で20年を迎える事、皆様のご尽力のお陰と感謝し御礼申し上げます。私の成年期(60年程前)とは、それはそれは、美しくお手入れがされた治水公園は、ドリームランドの如くになっているのですね、素晴らしい写真懐かしく拝見いたしております。これからも応援しております。ありがとうございます。

加治川をきれいに

菅谷小学校

六年 佐藤 弘実

私は、加治川の花見ウォークに行きました。残念なことに、桜は散りほとんど葉になっていました。花見ウォークに参加したのは、児童十三人、校長先生、PTA副会長の父さんです。

最初に、えらい人のお話を聞いて、さっそく出発です。そのときに、ごみ拾いをすると言いました。「あっそうなんだ。」

楽しかった加治川花見ウォーク

川東小学校

六年 廣川 芽依

四月二十一日に加治川花見ウォークがありました。桜のほとんどは葉桜でしたが、葉の中に桜がかくれているみたいで、ステキでした。

私が、加治川花見ウォークで心に残ったことは、次の二つです。一つ目は、出発の合図の代表をしたことです。友達と三人で大きなステージにあがって、元氣よく出発の言葉を言えました。きんちようしたけれど、代表になれたのでうれしかったです。暑いけれど、みんなが元氣に楽しく歩けるように心をこめて言いました。

「せっかくだから、がんばろう。」などの声がありました。

そう言いながらも歩きはじめる、と、びっくりしたことにたくさんごみがありました。特に、三年生の人たちは、ごみがあると、落ちていた場所まで行って、拾っていました。もちろん私も、たくさん集めました。ゴールをするとゲームをしました。

最後に、高校生の、すごいえんそうを聴きました。加治川の周りを少しでもいいからきれいにできて、よかったです。

二つ目は、友達と仲よく楽しく歩けたことです。ハチなど、虫がいっぱいいてびっくりしましたが、びっくりするたびにちょっと楽しくなりました。登り坂は少しづつだったけれど、自分のペースで歩くことができたので、あせらず、落ち着いて楽しく歩くことができました。桜はあまり咲いていませんでしたが、かくれ桜を探しているようで楽しかったです。

加治川の周りは、桜の木がたくさんありました。残念ながら桜はあまり咲いていませんでしたが、「満開だったらすごくキレイなのかなあ。」と思いました。今度は、満開の時に行ってみたいです。

お花見ウォーク

聖籠町立蓮野小学校

六年 出戸 樹里

お花見ウォークで楽しかったこと、思い出に残ることは、三つあります。

一つ目は、思った以上に暑かったことです。ずいぶん暑かったです。二つ目は、友達と話しながら歩いたことです。最近のおもしろい話など、たくさんをしゃべりました。毛虫を見つけては、

思い出になった

加治川ウォーク

七葉小学校

眞壁 健太

加治川花見ウォークは、ぼくにとって楽しく思い出に残るイベントになりました。

ぼくは、花見ウォークの時に、学校児童の先頭に立ちました。そして、旗を持ち、みんなを先導しました。旗は重くて、持つのが大変でしたが、先頭に立つて歩いたことは、とても楽しく思い出に残りました。

「キヤークャー。」と、言ったりしてとても楽しかったです。三つ目は、高校生の人が音楽を聴かせてくれたことです。知っている歌や、初めて聴く歌がたくさんあり、とても楽しいお花見ウォークになりました。最後に、みんなで木を植えたことも思い出に残りました。

このように、私はお花見ウォークで楽しいことがたくさんあり、加治川の人とたくさんふれあえたりして、とても楽しかったです。私にとって大切な思い出になりました。一番心に残っていることは、景色がよかったことです。桜の風景だけでなく、多種多様な植物やきれいな空の景色など、色々なものがきれいで、歩いていて気持ちがよかったです。覚えていてほしい。しかし、そんな中で気になることもありました。それは、ゴミが多いということです。せっかくなので、気持ちいいのに、なんでゴミをすてるのだろうとふしぎに思いました。ちよつとのゴミも気になるほど加治川の川ぞいは、景色がきれいで気持ちいい場所でした。